

## 第3章

健幸（けんこう）長寿のまち

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目								
311	市民部	市民相談課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	昨年度から利用者が減少したが、200人以上の利用があり、事業の目的のとおり市民の健康増進と心身のリフレッシュに資することができる。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を							
			-	自治事務		57千円	26千円	R6予算現額									R6決算額(見込み)		所沢バスポート券利用者数	所沢バスポート券を利用した延べ人数	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	所沢バスポート券要綱		58千円	24千円										R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合					
			事業の目的及び具体的な内容	市民の健康増進と心身のリフレッシュを目的とする。市が協定を結ぶ温泉地の旅館組合や単体の宿泊施設で宿泊料金の優待割引(10%)等を受けられる所沢バスポート券事業を実施している。令和7年度は、石和温泉の保養地と草津、魚沼、十日町、秩父にある宿泊施設と協定を結んでいる。		0.09人	0人	R6正規職員人件費										R6その他職員従事割合		R5目標	R5実績		
			期間	H4 ~		727千円	237人										0.13人	0人				400人	400人
			H4 ~	1,061千円		0人	400人	237人										335人	237人	237人			
			評価者	市民相談課長 守谷 秀明		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか																
			評価者	市民相談課長 守谷 秀明		インターネットの普及等に伴い、市が行う事業としての役割は相対的に少なくなっている。また、協定解除の申入れがあった協定先もあるため、新規の協定先を探すことを含めて、今後の事業のあり方・運用方法等について検討していく。	年齢や性別を問わず、心身のリフレッシュと健康の増進に寄与した。																
311	健康推進部	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	クーリングシエルトアの指定により、暑さを避ける行動をとりやすい環境となった。このことから、熱中症リスクの低減に寄与することができたため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を							
			最優先	自治事務		-	-	R6予算現額									R6決算額(見込み)		①クーリングシエルトアの指定及び運営 ②熱中症警戒アラート発表時の注意喚起	クーリングシエルトア指定施設数(クーリングシエルトア施設の維持拡充)	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	気候変動適応法		283千円	262千円										R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合					
			事業の目的及び具体的な内容	気候変動適応法により、国・地方公共団体に対し、役割に応じた熱中症対策の取組が求められている。熱中症による健康被害の防止を目的に市における熱中症対策を推進するものである。		-	-	R6正規職員人件費										R6その他職員従事割合		R5目標	R5実績		
			期間	R6 ~		0.85人	0人										6,938千円	0人				42か所	48か所
			R6 ~	6,938千円		0人	42か所	48か所										42か所	48か所				
			評価者	保健医療課長 中山 倫宏		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか																
			評価者	保健医療課長 中山 倫宏		気候変動により、今後さらに気温が上昇することが予想され、熱中症による死亡、救急搬送者が増加することにより医療破綻につながる恐れがある。外出時に気軽に立ち寄れるクーリングシエルトアの増加、また熱中症予防及び熱中症の応急処置など、周知啓発を行っていく。	熱中症の発生の予防及び、熱中症になった際の重症化の予防に貢献した。																
311	健康推進部	健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類別	特別会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標歩数が達成できず、平均歩数が令和5年度よりも減少したため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を							
			最優先	自治事務		18,565千円	17,737千円	R6予算現額									R6決算額(見込み)		①参加者数 ②一日の平均歩数	健幸マイレージ事業の参加者の1日平均歩数	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	健康増進法		9,115千円	8,238千円										R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合					
			事業の目的及び具体的な内容	本事業は、市民一人ひとりが健康を実感しながら、地域で安心していきいきとした生活をおくることのできる「元気でいきいき」健康長寿のまち」の実現を目指す取組の一環として実施するものである。従来の「トコロン健康マイレージ事業」から、埼玉県が実施する「コバトン健康マイレージ事業」に令和2年7月から参加、令和6年4月に「コバトンALK00(あるこう)マイレージ事業」へリニューアルがあった。スマートフォンのアプリで歩数を記録しながら日常的にウォーキングを行ってもらい、生活習慣病の予防を図るとともに、健康づくりを支援するものである。また、楽しみながら続けられるよう、市の独自ポイントを付与、抽選により景品が当たる仕組みを取り入れている。		1.96人	0人	R6正規職員人件費										R6その他職員従事割合		R5目標	R5実績		
			期間	R2 ~		15,839千円	8,000歩										2.19人	0人				8,000歩	6,374歩
			R2 ~	17,875千円		0人	8,000歩	6,374歩										8,000歩	6,374歩				
			評価者	健康づくり支援課長 岩雲美香		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか																
			評価者	健康づくり支援課長 岩雲美香		・事業への参加継続及び平均歩数増加のための取組を進めていく。 ・近年の猛暑により、夏季の平均歩数が減少傾向にあることから、春季や秋季など、歩하기에適した時期を見極めて歩行を促していく。 ・引き続き、歩くことによる健康効果などの情報発信に努める。	日常生活における「歩き」を推進することで、生活習慣病の予防及び健康づくりへの取組を支援するとともに、CO2の削減に貢献した。																
311	健康推進部	健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	健康づくりに必要な情報発信を各種事業や会議等で積極的に行うとともに、地域の団体等との関係づくりに努めたことにより、地区からの依頼が増加した。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を							
			重要	自治事務		42,712千円	32,537千円	R6予算現額									R6決算額(見込み)		①地区依頼教育の会場数 ②地区依頼教育の実施人数	地区からの依頼教育の実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	健康増進法、地域保健法		38,478千円	24,811千円										R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合					
			事業の目的及び具体的な内容	「元気でいきいき」健康長寿のまち」の実現にむけて、平成25年4月から保健師の地区担当制を導入し、各種健康データの分析や保健事業を通じて各行政区ごとの地区特性を把握し、子どもから高齢者まで全ての市民を対象とした保健活動を、市民ならびに関係機関と協力して進めている。		1.87人	0人	R6正規職員人件費										R6その他職員従事割合		R5目標	R5実績		
			期間	H18 ~		15,111千円	1,600人										1.64人	0人				2,300人	2,509人
			H18 ~	13,386千円		0人	1,600人	2,509人										2,300人	2,509人				
			評価者	健康づくり支援課長 岩雲美香		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか																
			評価者	健康づくり支援課長 岩雲美香		地域の現状や課題を把握し、関係機関と連携を図りつつ、地域の実情にあった保健活動を継続していく。	健康づくりに必要な知識や具体的な取組方法について分かりやすく伝えることにより、市民の関心を高め健康づくりの取り組みを推進することができる。																

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト	活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
311	健康推進部	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	確定した令和5年度実績の達成率は目標に達しなかったものの、「計画庁内推進会議」及び「計画推進委員会」において意見を伺いながら適正な進行管理を行っており、保健医療施策の推進に寄与していると考えられるため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			優先	自治事務	762千円	471千円	①計画推進委員会開催数 ②計画庁内推進会議開催数	目標指標達成率 (令和5年度実績による令和6年度評価) 目標達成評価項目数 ÷ 全評価項目数	R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		R6年度に改善した点	
			根拠法令	自治事務	768千円	731千円									R6実績	R6実績
			所沢市保健医療計画推進事業	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析			R6目標		R6実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			所沢市保健医療計画は、第6次総合計画前期基本計画の課題である「元気でいきいき「健幸(けんこう)長寿のまち」の実現に基づき、市民一人ひとりが、それぞれのおかれている状態の中で、心身の健康を実感しながら、地域の中で安心していきいきと暮らせるまちを目指している。	1.28人	0人	100.0%										84.2%
			期間	本計画では、市や関係機関などが実施している保健・医療分野等の取り組みを整理・評価することで、保健医療施策が効果的、効率的に推進できるよう努めるものである。	1.03人	0人	①4回 ②4回(第3回のみ書面会議)	100.0%	86.8%	【5項目の内訳】 「産婦人科・周産期医療問題協議会会議への参加」、「新型インフルエンザ等対策訓練への参加・実施」、「認知症サポーター養成講座受講者数」、「自殺死亡率」、「所沢市歯科診療所あおぞらの障害児者歯科診療の受診者数」			各事業において主体的に事業の改善が図られるよう、評価実施の趣旨を説明するなど、保健医療施策の推進に向けた取り組みを促していく。		保健医療計画を推進することにより、市民の健康づくりに貢献した。	
			H28 ~		8,407千円											保健医療課長 中山 倫宏
312	子ども未来部	子ども家庭センター	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	補助金を活用した市内の新規開設には至らなかったが、令和7年度に向けて市外のデイスサービス型の受託契約について準備を進めたことにより、産後ケア事業による母子への支援拡充を図ることができた。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			-	自治事務	2,000千円	1,000千円	①申請・交付件数	産後ケア事業(デイスサービス型)の市内開設施設数	R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		R6年度に改善した点	
			根拠法令	自治事務	2,000千円	0千円									R6実績	R6実績
			産後ケア(デイスサービス型)施設開設準備支援事業	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析			R6目標		R6実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			母子保健法、母子保健医療対策総合支援事業実施要綱(国)、所沢市産後ケア事業実施要綱、所沢市産後ケア事業実施施設開設準備経費補助金交付要綱	0.40人	0人	2件										1件
			期間	産後ケア事業は、育児に不安があるなど、支援を必要とする産婦及び産婦並びにその新生児及び乳児に対して、心身のケアや育児サポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を目的として、宿泊型とデイスサービス型により実施している。このうち、デイスサービス型について開設準備に係る経費を補助することで、市内での開設を促進するものである。	3,232千円	0人	①0件	2件	0件				令和7年度にも再度市内産科医療機関へ周知し、産科医療機関や助産院からの問合せ時に、産後ケア事業(デイスサービス型)について説明や提案を実施する。		育児に不安があるなど、支援を必要とする母子に対して、心身のケアや育児サポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を整えた。	
			R5 ~ R7		2,204千円	0人										子ども家庭センター担当 松井 優子
312	子ども未来部	子ども家庭センター	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	専門職の面接、電話、訪問から、母子保健や育児に関する相談対応を行った。産後ケア事業の情報提供を行うなど、妊産婦に寄り添う支援を実施した。今後もさらなる支援の拡充に努める。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			優先	自治事務	30,772千円	29,886千円	①電話、窓口、面接、訪問等による相談など ②母乳相談 ③妊婦サロン ④産後ケア	妊産・出産について満足している親の割合	R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		R6年度に改善した点	
			根拠法令	自治事務	36,859千円	35,547千円									R6実績	R6実績
			妊産・出産つづけてサポート事業	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析			R6目標		R6実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			核家族化や地域のつながりの希薄化等により、地域で出産、子育てを担う母親の育児負担が増えていることから、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な相談に円滑に対応する。 ①専門相談員を配置し、電話、窓口、面接、訪問による相談対応(とことろ子育てサポート事業母子保健型) ②母乳相談 ③妊婦サロンの実施 ④産後ケア事業	2.49人	8人	83.0%										85.0%
			期間		20,122千円		①4,918件 ②12回(28人) ③10回(45人) ④宿泊型384日(延べ118人)、デイスサービス型124日(延べ104人)						引き続き、妊産・出産から子育て期にわたる切れ目ない支援を実施するとともに、各支援の充実を図っていく。		妊産中及び出産後の子育てや生活等について助言・情報提供を行い不安を軽減できるように努めた。	
			H28 ~		20,976千円	2.85人										子ども家庭センター担当 松井 優子
312	子ども未来部	子ども家庭センター	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	引き続き子どもを望む夫婦に対し費用助成を行うことで、経済的負担の軽減を図り、適切な治療に繋がられるよう支援を行うとともに、少子化対策に資するよう努めていく。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			-	自治事務	4,200千円	3,749千円	①不妊検査の申請件数 ②不育症検査の申請件数	申請件数(合計)	R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		R6年度に改善した点	
			根拠法令	自治事務	4,644千円	4,644千円									R6実績	R6実績
			不妊検査費等助成事業	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析			R6目標		R6実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			埼玉県早期不妊検査費・不育症検査費助成事業実施要綱、所沢市早期不妊検査費・不育症検査費助成金交付要綱	0.33人	0.5人	234件										161件
			期間	晩婚化の進展に伴い、年齢を重ねるほど妊娠率が下がり、妊娠・出産に係るリスクも高まるなか、子どもを望む夫婦に対し早期の不妊検査及び不育症検査に要する費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図るもの。 不妊検査費及び不育症検査費については、医師が必要と認めた検査で、妻の年齢が35歳未満の方に対して3万円、35歳以上の方に対して2万円を上限とし1回助成する。	2,667千円	0.5人	①165件 ②19件	180件	184件				県と連携を図りながら、少子化対策に資するよう取り組んでいく。		妊産中及び出産後の子育てや生活等について助言・情報提供を行い不安を軽減できるように努めた。	
			H29 ~		2,449千円	0.5人										子ども家庭センター担当 松井 優子

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
312	こども未来部	こども家庭センター	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	妊娠届出時、出生後に伴走型相談支援として、保健師や助産師による面談を実施し、相談体制の充実を図っている。妊婦自身が必要なサービスを選択し利用につながるよう支援をしていく。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			最優先	自治事務		38,650千円	30,040千円										①妊娠届出時の相談件数	相談件数(合計)
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額(見込み)											
			出産・子育て応援事業(伴走型相談支援)	事業の目的及び具体的な内容		20,986千円	20,488千円										②出生後の相談件数	
			期間	R4 ~ R6		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5実績									R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
						2.79人	0.5人	4,000件									3,837件	
						22,546千円		実績									R6実績	
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①1,967件	3,800件	3,768件	妊産婦の体調や各家庭事情に配慮しつつ相談支援を実施するため、面談が困難なこともあるが概ね目標を達成できている。											
		2.49人	2.1人	②1,801件														
		20,323千円																
321	健康推進部	健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標については、HPV(定期)を除きほぼ目標に近い水準を達成することができており、事業の目的である感染症の発生・まん延防止は図られていると考える。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			優先	自治事務		1,245,335千円	980,346千円										①小児予防接種接種者数	小児予防接種接種率(延べ接種者数55,138人÷対象者数58,904人)
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額(見込み)											
			各種予防接種事業	事業の目的及び具体的な内容		2,198,526千円	1,707,143千円										②成人予防接種接種者数(キャッチアップ接種を含む)	
			期間	S23 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績									R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
						2.00人	1人	100.0%									90.8%	
						16,162千円		R6目標									R6実績	
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①55,138人	100.0%	93.6%	予防接種のうち、HPVワクチン(定期接種)については国の方針で勧奨を差し控えた時期もあったこと等から、本人や保護者の不安感が払しょくしきれないため、接種率を他の接種項目と同様に100%付近まで向上させることは極めて困難である。											
		3.16人	1人	②65,272人														
		25,792千円																
323	健康推進部	健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	受診券発送方法を見直し、併せて集団検診受診希望日予約システムを導入したこと等により、事業の内容をわかりやすく伝えるとともに利便性の向上を図った。事業の持続性向上のため、大腸がん検診の結果判定の実施方法の国基準化を図るため、所沢市医師会と協議をすすめた。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			優先	自治事務		275,298千円	262,476千円										①延べ受診勧奨人数(受診券送付含む)	大腸がん検診受診率(受診者数÷対象者数×100=受診率)(受診者:14,705人、対象者:219,867人)
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額(見込み)											
			がん検診事業	事業の目的及び具体的な内容		336,924千円	287,577千円										②延べ受診件数(前立腺含む)	
			期間	S58 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績									R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
						2.58人	3人	8.5%									8.1%	
						20,849千円		R6目標									R6実績	
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①113,698人	8.6%	6.7%	要因としては、ひとつに限定しきれないが、受診券発送方法において、これまで国民健康保険の特定健診受診券封筒に大腸がん検診受診券を同封していたが、その方式を取り止めて、がん検診関係の受診券をまとめて一斉送付する方式に切り替えたことにより、特定健診の受診をきっかけに、がん検診の受診を検討しようという動機付けが減少した可能性が考えられる。											
		2.65人	3人	②42,574人														
		21,629千円																
324	健康推進部	健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	精神保健福祉士による延相談件数は前年より増加した。病状の悪化などによる緊急時の対応や、相談者の生活状況に合わせたメール相談の活用など柔軟に対応している。引き続き関係機関等との連携を図りながら支援を進めた。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務		6,677千円	5,624千円										①精神保健福祉士による相談件数	精神保健福祉士による延べ相談件数
			根拠法令	根拠法令		R6予算現額	R6決算額(見込み)											
			精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	事業の目的及び具体的な内容		7,317千円	6,722千円										②こころの健康講座及びこころの美術展の参加人数	
			期間	H14 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績									R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
						7.88人	0人	9,500件									10,415件	
						63,678千円		R6目標									R6実績	
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①延相談件数11,016件	10,000件	11,016件	目標達成済											
		10.47人	0人	②延参加人数 3,626人														
		85,456千円		③延利用者数 16人 延利用日数 69日間														

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
					会計	投入コスト			活動実績(R6)		成果指標			総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目				
						R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠											
324	健康推進部	健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	①自死遺族支援「わかちあいの会」の運営 ②思春期こころの健康相談事業	R6予算現額 1,110千円	R6決算額(見込み) 956千円	項目名 思春期こころの健康相談事業の延相談者数	指標名 「生きるを支える所沢市行動計画」(自殺対策計画)に基づく施策のうち「思春期こころの健康相談事業」の相談者数を指標とした。	目標設定の考え方・根拠	A	成果指標は目標に達しなかったが、思春期特有の不安定な心の特性に配慮しながら、医療的な助言に加え、家庭や学校などの環境調整も含めた助言は生徒の支援に生かされている。自殺対策事業は既存事業の他「NPO法人ライフリンク」との連携協定を締結するなど、若者の自殺対策に取り組んでいる。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			重要	自治事務		1,110千円	944千円									R6目標		R6実績	「生きるを支える所沢市行動計画」(自殺対策計画)に基づく施策のうち「思春期こころの健康相談事業」の相談者数を指標とした。	R6年度に改善した点	
			根拠法令	自殺対策基本法 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律		1,110千円	956千円									R5目標		R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	R6年度に改善した点	
			事業の目的及び具体的な内容	自殺防止対策にかかわる啓発事業		R5正規職員人件費 0.78人	R5その他職員従事割合 0人									実績		32人	R6目標値が未達成の理由・分析	R6年度に改善した点	
			期間	自殺対策基本法の基本理念には、自殺が個人的な問題としてのみとらえられるべきものではなく、その背景には様々な社会的な要因があることを踏まえ、その対策が社会的な取組として実施されなければならないとされている。本市においてもその趣旨を踏まえ相談や普及啓発等の自殺防止対策を実施する。		R6正規職員人件費 6,303千円	R6その他職員従事割合 0人									①6回開催 73人		32人	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	
			H21 ~			0.68人	0人									②12回開催 27人				R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
						5,550千円	0人													R6目標値が未達成の理由・分析	思春期のこころの問題については、家族からの問合せの他に高校生本人からの相談もある。不登校やひきこもり、家庭での不和など多彩な行動がみられる原因が特定できないことも多い。教育分野等他部門とも連携を図り、医療を活用し支援に取組むため、若者本人も気軽に相談できる相談場所の新設等の検討を行う。
																				R6目標値が未達成の理由・分析	どのように貢献したか
331	健康推進部	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	①診療計画日数(夜間、休日・祝日、年末年始) ②診療実施日数	R6予算現額 3,253千円	R6決算額(見込み) 3,253千円	項目名 小児科救急医療病院群輪番制実施率 診療実施日数 ÷ 診療計画日数	指標名 本事業は、夜間及び休日・祝日、年末年始の小児の第二次救急医療体制の確保を目的としていることから、診療計画日におけるすべての日で診療を実施することを目標とする。	目標設定の考え方・根拠	A	夜間及び休日・祝日、年末年始におけるすべての日で診療を実施できたことにより、小児の第二次救急医療体制の整備が図られたと考えるため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			優先	自治事務		3,267千円	3,254千円									R5目標		R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	R6年度に改善した点	
			根拠法令	所沢地区小児科救急医療病院群輪番制病院運営費補助に関する協定書、埼玉県小児救急医療施設運営費補助金交付要綱		3,253千円	3,253千円									実績		100.0%	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	
			事業の目的及び具体的な内容	小児科救急医療病院群輪番制事業		R5正規職員人件費 0.54人	R5その他職員従事割合 0人									①437日		100.0%	100.0%	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	夜間及び休日・祝日、年末年始の小児の第二次救急医療を確保するため、所沢市、狭山市、入間市において、3市及び協力医療機関(3病院)による協定書に基づき、輪番制で第二次救急医療体制の整備を図るものである。		R6正規職員人件費 4,364千円	R6その他職員従事割合 0人									②437日		100.0%	100.0%	目標達成済	どのように貢献したか
			H12 ~			0.17人	0人													目標達成済	本事業は、第二次救急医療体制の整備を図る上では必要不可欠であるため、継続して実施できるよう、所沢市、狭山市、入間市、3市で連携を強化していく。
						1,388千円	0人													目標達成済	所沢地区における、小児の祝休日及び夜間の第二次救急医療の確保
																				目標達成済	保健医療課長 中山 倫宏
331	健康推進部	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	①診療計画日数(休日、祝日、年末年始) ②診療実績日数	R6予算現額 16,035千円	R6決算額(見込み) 16,035千円	項目名 在宅当番医制実施事業	指標名 診療実施率 診療実施日数 ÷ 診療計画日数	目標設定の考え方・根拠	A	一般の医療機関が診療を行っていない、休日、祝日及び年末年始におけるすべての日で診療を実施できたことにより、祝休日及び年末年始の初期救急医療体制の整備が図られたと考えるため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			重要	自治事務		16,248千円	16,248千円									R5目標		R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	R6年度に改善した点	
			根拠法令	埼玉県地域保健医療計画		16,035千円	16,035千円									実績		100.0%	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	
			事業の目的及び具体的な内容	在宅当番医制実施事業		R5正規職員人件費 0.53人	R5その他職員従事割合 0人									①72日		100.0%	100.0%	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	一般の医療機関が診療を行っていない休日・祝日及び年末年始において、初期救急患者の医療体制を確保するため、所沢市医師会との委託契約により、市内の医療機関が輪番制で診療を実施するものである。		R6正規職員人件費 4,283千円	R6その他職員従事割合 0.05人									②72日		100.0%	100.0%	目標達成済	どのように貢献したか
			S59 ~			0.22人	0.05人													目標達成済	本事業は、初期救急医療体制の整備を図る上では必要不可欠であるため、継続して実施できるよう、所沢市医師会との連携の強化に努めていく。
						1,796千円	0.05人													目標達成済	祝休日及び年末年始の初期救急医療の確保
																				目標達成済	保健医療課長 中山 倫宏
331	健康推進部	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	①診療計画日数(夜間、休日・祝日、年末年始) ②診療実績日数	R6予算現額 31,045千円	R6決算額(見込み) 31,045千円	項目名 所沢地区病院群輪番制病院運営事業	指標名 診療実施率 診療実施日数 ÷ 診療計画日数	目標設定の考え方・根拠	A	夜間、休日・祝日及び年末年始におけるすべての日で診療を実施できたことにより、第二次救急医療体制の整備が図られたと考えるため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			重要	自治事務		31,187千円	31,187千円									R5目標		R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	R6年度に改善した点	
			根拠法令	所沢地区病院群輪番制病院運営費補助に係る協定書、所沢地区病院群輪番制病院運営費補助金交付要綱		31,045千円	31,045千円									実績		100.0%	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	
			事業の目的及び具体的な内容	所沢地区病院群輪番制病院運営事業		R5正規職員人件費 0.54人	R5その他職員従事割合 0人									①437日		100.0%	100.0%	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	夜間及び休日・祝日、年末年始の第二次救急患者の医療体制を確保するため、所沢地区(所沢市、狭山市、入間市)における第二次救急医療機関(12病院)が病院群輪番制方式により診療を実施するものである。		R6正規職員人件費 4,364千円	R6その他職員従事割合 0人									②437日		100.0%	100.0%	目標達成済	どのように貢献したか
			S55 ~			0.17人	0人													目標達成済	本事業は、第二次救急医療体制の整備を図る上では必要不可欠であるため、継続して実施できるよう、所沢市、狭山市、入間市、3市で連携を強化していく。
						1,388千円	0人													目標達成済	所沢地区における、祝休日及び夜間の第二次救急医療の確保
																				目標達成済	保健医療課長 中山 倫宏

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目								
332	健康推進部	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	診療にあたっては、感染防止対策のため、1人にかかる診療時間を従来より長く確保する必要があり、1日の予約枠を縮小せざるを得なかった。これにより、患者の受け入れ人数が制限されたことから目標値は達成できなかったものの、感染症が発生することなく、歯科診療所あおぞらに期待される診療の実施に向けた体制整備が図られたと考えるため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を							
			重要	自治事務		53,758千円	53,725千円																
			根拠法令	医療法、所沢市歯科診療所条例		R6予算現額	R6決算額(見込み)										①在宅要介護高齢者歯科診療 診療日数 ②障害児者歯科診療 診療日数 ③休日緊急歯科診療 診療日数	所沢市歯科診療所あおぞらの障害児者の診療実績(単位:人)	障害児者の歯科診療が市の役割として期待されており、可能な限り多くの利用者を受け入れることができる診療体制構築のため、受診できる最大受診者数を目標とする。				
						59,760千円	54,320千円																
			期間	H10 ~		事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合									R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析				
						一般の歯科診療所での診療が困難な患者への歯科診療体制及び休日緊急歯科診療体制の確保を目的として、保健センター内「歯科診療所あおぞら」において、在宅要介護高齢者及び障害児者の歯科診療、休日緊急歯科診療を実施するものである。	0.81人	0人												実績	850人	R6実績	
							6,546千円	会年職員等															0人
R6	6,366千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①50日	歯科診療所あおぞらでは、感染防止対策のため、1人にかかる診療時間を従来より長く確保する必要があり、1日の予約枠を縮小せざるを得ない状況となっているため。	R6目標	R6実績															
0.78人	0人		②100日																				
6,366千円	会年職員等	0人	③71日																				
332	健康推進部	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	流行傾向にある感染症について、ホームページで注意喚起を行うなど、感染症流行に関する確実な注意喚起を実施することにより、感染症の更なるまん延の防止、基本的な感染症予防の重要性の周知が図られたと考えるため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を							
			-	自治事務		0千円	0千円																
			根拠法令	感染症法		R6予算現額	R6決算額(見込み)										①感染症流行警報及び注意報の発令に伴う注意喚起実績 (市が実施した注意喚起回数÷発令回数)	感染症まん延防止のための注意喚起を着実に実施するため、埼玉県より発令される流行警報に対し、注意報を確実に市民へ発信することを目標とする。					
						0千円	0千円																
			期間	R5 ~		事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合									実績	-	R6目標値が未達成の理由・分析				
						新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえ、平時から感染症の発生動向を把握することを目的とし、感染症の流行状況、感染症流行警報及び注意報を迅速に周知し、感染症のまん延防止を目指す。	0.60人	0.1人												R6目標	R6実績		
							4,849千円	会年職員等														0.1人	
R6	2,041千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①4件(ところざわほっとメール及びホームページで注意喚起)	目標達成済	100.0%	100.0%															
0.25人	0.1人		②7件																				
2,041千円	会年職員等	0.1人																					
332	健康推進部	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	本事業は助成対象を令和6年4月以降に購入した物品として、10月から実施した。実施期間が半年しかなかったこと等の理由により、目標は達成できなかったものの、本事業を新たに開始したことの意味は大きく、がん患者やその家族の生活の質の向上及び心理的・経済的負担の軽減が図られたと考えるため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を							
			優先	自治事務		-	-																
			根拠法令	所沢市がん患者アピアランスケア用品購入助成金交付要綱、所沢市若年成人世代がん患者在宅ターミナルケア支援事業助成金交付要綱		R6予算現額	R6決算額(見込み)										①アピアランスケア支援(ウィッグ・補整具等)交付申請件数 ②ターミナルケア支援交付申請件数	アピアランスケア支援の交付申請件数及びターミナルケア支援の交付申請件数の合計(単位:件)	がん患者への支援が市の役割として期待されており、支援が滞ることなく事業を推進していけるよう、県の統計データから推計した年間交付申請件数見込みを目標とする。				
						3,735千円	589千円																
			期間	R6 ~		事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合									実績	-	R6目標値が未達成の理由・分析				
						がん患者に対し、外見の変化をケアする用品の購入費用、在宅療養費用等の一部を助成することにより、がん患者やその家族の生活の質の向上及び心理的・経済的負担の軽減を図るものである。 【アピアランスケア支援】 がん治療に伴う外見上の変化に対するケア用品(ウィッグ・補整具等)の購入費用の助成 【ターミナルケア支援】 若年成人世代の終末期がん患者に対する在宅療養費用(訪問介護、訪問入浴介護の利用等)の助成	-	-												R6目標	R6実績		
							-	会年職員等														-	
1.00人	0人		①59件	R6目標	115件	R6実績	59件																
8,162千円	会年職員等	0人	②0件																				
8,162千円	会年職員等	0人																					
333	市民医療センター	市民医療センター事務部総務課	実施計画ランク	事業の種類別	企業会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新型コロナウイルス感染症の初期流行期であった令和2年度は大きく患者数が落ち込んだものの、令和3年度以降は毎年前年度を上回っており、令和6年度においても前年度を上回る患者数を受け入れ、目標値の達成を目指す。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を							
			重要	自治事務		433,901千円	387,267千円																
			根拠法令	所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則		R6予算現額	R6決算額(見込み)										①内科外来診療患者数(二次救急含む) ②診療日数	1日の内科外来診療患者数(二次救急含む)(内科外来患者数/診療日数)	公的医療機関として、地域における医療提供体制の充実を図ることを目標とし、信頼して受診いただける受診環境の整備に努めていることから、内科外来の診療患者数を指標とする。				
						407,364千円	419,490千円																
			期間	S51 ~		事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合									実績	91人	R6目標値が未達成の理由・分析				
						地域住民の医療ニーズを的確に把握し、地域における医療提供体制の充実を図り、良質な医療を効率的・継続的に提供するものである。 ①内科外来診療 ②内視鏡検査の実施 ③糖尿病外来の実施	8.30人	24人												R6目標	R6実績		
							67,072千円	会年職員等														24人	
9.30人	29人		①19,401人	R6目標	91人	R6実績	80人																
75,907千円	会年職員等	29人	②245日																				
75,907千円	会年職員等	29人																					

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
333	市民医療センター	市民医療センター事務部総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新病院開設に向け、職員一丸となって入院患者の受け入れを推進し、目標値には届かなかったものの、前年度を上回る病床利用率となった。引き続き、医師、看護師を中心に地域の医療機関、老人介護施設との連携を深め、入院患者の増加を図りたい。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			優先	自治事務	774,723千円	602,816千円		①地域包括ケア病床在院患者延数 ②入院患者実人数 ③病床利用率 ※延べ年間入院患者数/延べ年間病床数×100 ④搬送救急収容人数 ※消防隊の搬送で入院した患者	地域包括ケア病床の利用率(地域包括ケア病床在院患者延数×100/病床数×365)	公的医療機関として、地域医療に求められる病床機能を確保しつつ事業運営をしていくという役割があるため、地域包括ケア病床の利用率を指標とする。						
			根拠法令	R6決算額(見込み)	R6決算額(見込み)		R5正規職員人件費				R5その他職員従事割合					R5目標
			所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則	764,477千円	642,984千円			26.10人	33.1人	85.0%						
			事業の目的及び具体的な内容	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		R6目標				R6実績					90.0%
			一般入院、かかりつけ医からの紹介、民間病院で受け入れ困難な患者などについて、入院受け入れを行い市民が安心して暮らすことができる医療環境を整備する。また、医療機関や行政機関との連携を図り、地域での医療連携(地域完結型医療)体制を推進するものである。	210,914千円	①3,582円			33.7人	②725人	③68.2%						
			期間	28.90人	R6正規職員人件費		R6目標				R6実績					30.0%
S51 ~	235,882千円	R6その他職員従事割合		R6目標	R6実績	30.0%		34.5%								
333	市民医療センター	市民医療センター事務部総務課	実施計画ランク				事業の種類別		R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B
			優先	自治事務	675,299千円	494,294千円		①人間ドック等受診者数 ②精密検査指示者数	市民医療センターで人間ドックを受診し、精密検査を指示された方のうち市民医療センターで精密検査を受けた方の割合	疾病の早期発見、早期治療に取り組むことを目標とするため、人間ドックで精密検査を指示された方のうち、市民医療センターで実際に精密検査を受けた方の割合を指標とする。						
			根拠法令	R6決算額(見込み)	R6決算額(見込み)		R5正規職員人件費				R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析		
			所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則	638,536千円	516,757千円			15.80人	50.1人	30.0%					32.4%	
			事業の目的及び具体的な内容	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		R6目標				R6実績	30.0%	34.5%			
			市民の健康維持・増進のため、人間ドック、特定健診などの検診を実施する。また、疾病の早期発見、早期治療に繋げていくため、精密検査や治療が必要な受診者に対し、受診勧奨を行い、確実な医療機関への受診を促進するものである。	127,680千円	①10,117人			48.0人	②970人	③335人				目標達成済		
			期間	16.90人	R6正規職員人件費		R6目標				R6実績	30.0%	34.5%			
S51 ~	137,938千円	R6その他職員従事割合		R6目標	R6実績	30.0%		34.5%								
333	市民医療センター	市民医療センター事務部総務課	実施計画ランク				事業の種類別		R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B
			優先	自治事務	223,448千円	200,216千円		①小児夜間急患診療年間患者数 ②小児深夜帯急患診療年間患者数 ③小児科日曜日・休日急患診療年間患者数	小児初期救急医療体制の維持	安心して子育てができる医療環境を整備するため、市民医療センターと市内医療機関が連携して、所沢市域全体での小児初期救急医療の提供体制を維持するものである。						
			根拠法令	R6決算額(見込み)	R6決算額(見込み)		R5正規職員人件費				R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析		
			所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則	209,414千円	182,241千円			3.80人	44.4人	維持					維持	
			事業の目的及び具体的な内容	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		R6目標				R6実績	維持	維持			
			安心して子育てができる医療環境を整備するため、医療機関の多くが診療を実施していない夜間、深夜、日曜日及び祝日において小児の内科的急性疾患の初期診療を実施し、関係医療機関と連携しながら所沢市域全体で365日の小児初期救急医療体制が維持できるよう努めていく。	30,708千円	①2,209人			54.4人	②1,141人	③3,732人				目標達成済		
			期間	3.50人	R6正規職員人件費		R6目標				R6実績	維持	維持			
H11 ~	28,567千円	R6その他職員従事割合		R6目標	R6実績	維持		維持								
333	市民医療センター	市民医療センター事務部総務課	実施計画ランク				事業の種類別		R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B
			重要	自治事務	186,749千円	170,958千円		①小児科外来診療患者数 ②診療日数 ③小児神経発達外来の患者数(夜尿症外来、フォローアップ外来、舌下免疫外来は小児科の一般外来内で実施に変更)	1日の小児科外来診療患者数(小児科外来患者数/診療日数)	公的医療機関として、地域における医療提供体制の充実を図ることを目標とし、信頼して受診いただける受診環境の整備に努めていることから、小児科外来の診療患者数を指標とする。						
			根拠法令	R6決算額(見込み)	R6決算額(見込み)		R5正規職員人件費				R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析		
			所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則	176,340千円	150,568千円			3.80人	7.8人	66人					112人	
			事業の目的及び具体的な内容	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		R6目標				R6実績	80人	87.8人			
			安心して子育てができる医療環境を整備するため、地域における医療提供体制との連携を図り、良質な医療を効率的・継続的に提供するものである。	30,708千円	①21,432人			14人	②244日	③351人				目標達成済		
			期間	3.60人	R6正規職員人件費		R6目標				R6実績	80人	87.8人			
S51 ~	29,383千円	R6その他職員従事割合		R6目標	R6実績	80人		87.8人								

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目					
333	市民医療センター	市民医療センター事務部総務課	実施計画ランク	事業の種類別	企業会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	令和5年度末策定の所沢市市民医療センター再整備基本計画をもとに、令和6年度は再整備工事設計事業者の選定を行い、年度未までに基本設計図書を完成させた。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			最優先	自治事務		-	-													
			根拠法令	第2次所沢市保健医療計画 所沢市市民医療センター再整備基本計画		R6予算現額	R6決算額(見込み)										①再整備工事設計業務委託事業者の選定 ②再整備工事設計業務(基本設計)	設計事業者の選定 基本設計図書の作成	再整備事業のスケジュールに沿って、令和6年度は設計業務委託契約を締結し、基本設計図書を完了させる。	
				58,715千円		45,936千円														
			事業の目的及び具体的な内容	市民医療センターは、昭和51年9月の開設以来48年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいることから、施設整備の方法や担うべき機能など、再整備の検討を行ってきた。本事業は、令和5年度策定の所沢市市民医療センター再整備基本計画に基づき、現在の市民医療センターを運営しながら、現在地での建て替えを行うものである。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合										③近隣住民説明会の開催	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
				-		会年職員等	-													
			期間	R6 ~ R12		3.28 人	会年職員等	0人									実績	-	-	R6目標
		26,771千円			①公募型プロポーザル方式により設計事業者を選定 ②再整備工事基本設計図書の作成 ③令和7年2月に実施(2回、41名参加)							どのよう貢献したか	市民が安心して暮らしていける医療環境を提供する。							
341	健康推進部	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類別	特別会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	レセプト点検等業務の実施により再審査申出効果額が決算額を上回り保険者負担分が削減された。引き続き効果が上がるよう取り組んでいく。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			優先	自治事務		7,665千円	5,193千円													
			根拠法令	国民健康保険法		R6予算現額	R6決算額(見込み)										①レセプト点検率 ②再審査申出件数 ③再審査申出効果額	再審査申出に伴う決算額に対する効果額の割合	再審査申出に伴う効果額はレセプト件数や医療機関での算定内容によって増減が大きいため費用対効果を指標とする。	
				7,401千円		5,037千円														
			事業の目的及び具体的な内容	1 埼玉県国民健康保険団体連合会で審査されたレセプトを受領し、電算処理する。 2 レセプト点検システムにより内容点検を行う。 3 内容について疑義がある場合は、埼玉県国民健康保険団体連合会へ再審査の依頼をする。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合										実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
				0.23 人		会年職員等	0人													
			期間	R2 ~		1,859千円	会年職員等	0人									R6目標	R6実績	目標達成済	
		0.33 人	会年職員等	0人		①100% ②12,924件 ③5,505,991円					どのよう貢献したか	レセプト内容の点検をすることで医療費の適正化を図った。								
		2,693千円											国民健康保険課長 遠藤 康代							
342	健康推進部	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類別	特別会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	R6目標値の60.0%には達成していないものの、確定しているR5実施率では、県内40市中4位の実績を上げている。他市町村においても、実施率向上には苦慮しているが、所沢市では、業務委託の実績が上がらないところを国保専門職による対象者訪問で補っている。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			最優先	自治事務		5,456千円	2,171千円													
			根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法		R6予算現額	R6決算額(見込み)										①特定保健指導(動機づけ支援)の実施率 ②特定保健指導(積極的支援)の実施率	実施率(全体)	特定保健指導終了者数/特定保健指導対象者数	
				5,456千円		2,818千円														
			事業の目的及び具体的な内容	平成20年4月から、各医療保険者には生活習慣病予防及び疾病の早期発見・早期治療を通して、健康の保持増進と生活の質の向上を図ることを目的とした特定健康診査と特定保健指導の実施が義務付けられた。実施率向上を目指し、特定保健指導の一部(動機づけ支援)については、直営体制から業務委託に切り替え、国の目標値60%が達成できる体制の再構築を目指すものである。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合										実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
				1.65 人		会年職員等	1人													
			期間	H31 ~		13,334千円	会年職員等	1人									R6目標	R6実績	目標達成済	
		0.60 人	会年職員等	1人		①28.5%(令和7年6月25日現在) ②7.6%(令和7年6月25日現在)					どのよう貢献したか	R5にアンケート調査も実施したところであるが、今後も医療機関を訪問するなど、医療機関で特定保健指導を実施する上での課題を共有し、改善策を示し協力を求めていく。								
		4,897千円											国民健康保険課長 遠藤 康代							
343	健康推進部	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類別	特別会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値については、達成することができたが、受診率そのものは高いとはいえないため、継続して事業に取り組む必要がある。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			優先	自治事務		18,506千円	12,122千円													
			根拠法令	国民健康保険法		R6予算現額	R6決算額(見込み)										①受診勧奨対象者の受診率(糖尿病や糖尿病合併症の傷病名があり、HbA1c等の検査または投薬ありの者を受診とする) ②保健指導対象者の修了率 ③継続支援対象者の参加率	受診勧奨対象者の受診率(糖尿病や糖尿病合併症の傷病名があり、HbA1c等の検査または投薬ありの者を受診とする)	医療費が高額になる人工透析への移行を防ぐため、医療機関を受診していない人、もしくは受診を中断した人の勧奨後の受診率を指標とする。	
				17,640千円		10,411千円														
			事業の目的及び具体的な内容	県の指定を受けたモデル事業であり、国保連合会との共同事業として実施。各保険者が事業費用を分担金として負担。具体的には、レセプトと健診データを活用し、糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を医療に結びつける受診勧奨と、糖尿病性腎症で通院する被保険者のうち、重症化するリスクの高い者に対して保健指導を行い、人工透析への移行を防ぐ。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合										実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
				0.60 人		会年職員等	0人													
			期間	H26 ~		4,849千円	会年職員等	0人									R6目標	R6実績	目標達成済	
		1.05 人	会年職員等	0人		①18.0% ②81.3% ③28.2%					どのよう貢献したか	かかりつけ医の事業への賛同、協力および対象者の同意が欠かせないため、今後も丁寧な説明に努め、事業実績を上げていく必要がある。								
		8,570千円											国民健康保険課長 遠藤 康代							

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R5目標					
344	健康推進部	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類別	特別会計	R5予算現額	R5決算額	①お薬相談会参加者数(事業同意者)	多剤服薬者数(対被保険者1万人当たり)	同一月内に15剤以上の処方を受けた人数(保険者努力支援交付金評価指標)	B	かかりつけ医及びかかりつけ薬局をもつことに関する被保険者への啓発と、医師と薬剤師の連携に資する事業である。この事業により連携が進みやすくなることといったアンケート回答も薬局から寄せられていることから、継続することによって服薬適正化の目的が達成されると考える。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			-	自治事務		2,299千円	1,357千円						R6目標値が未達成の理由・分析		R6年度に改善した点	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)	R6目標						R6実績		R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			国民健康保険法	3,155千円		1,527千円	前年実績より減少						17人(令和7年6月30日現在)		どのよう貢献したか	
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	実績						R5実績		どのよう貢献したか	
			平成29年4月24日締結の「所沢市、所沢市医師会、所沢市薬剤師会及び明治薬科大学との連携による市民の健康増進に関する包括的協定書」に基づき、所沢市健康増進推進協議会(同協定第3条)で決定した事業を平成29年度から実施している。	0.95人		0人	①20人						R6目標		R6実績	どのよう貢献したか
			令和2年度からは高齢者のポリファーマシー(多剤服薬による有害事象)を防ぐ観点から、重複・多剤服薬者対策を実施している。	7,677千円		0人							R6目標		R6実績	どのよう貢献したか
期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①20人	前年実績より減少	17人(令和7年6月30日現在)	どのよう貢献したか										
H29 ~	0.75人	0人	①20人	前年実績より減少	17人(令和7年6月30日現在)	どのよう貢献したか										
	6,122千円	0人	①20人	前年実績より減少	17人(令和7年6月30日現在)	どのよう貢献したか										
			①20人	前年実績より減少	17人(令和7年6月30日現在)	どのよう貢献したか										
			①20人	前年実績より減少	17人(令和7年6月30日現在)	どのよう貢献したか										
344	健康推進部	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類別	特別会計	R5予算現額	R5決算額	①差額通知発送数	ジェネリック医薬品数量シェア	数量シェア=ジェネリック医薬品の数量/(ジェネリック医薬品のある先発医薬品の数量+ジェネリック医薬品の数量)×100	A	目標値80%は引き続き超えることができたが、医科レセプトにおける数量シェアは改善の余地があるため、今後も引き続き普及啓発を行っていく。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			優先	自治事務		1,038千円	735千円						R6目標値が未達成の理由・分析		R6年度に改善した点	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)	R5目標						R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析	ジェネリック医薬品の普及啓発を進めるため、啓発シール、啓発ポスターについて新しいデザインで作成した。
			-	1,038千円		689千円	80.0%						82.5%		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	実績						R5実績		どのよう貢献したか	
			ジェネリック医薬品の利用率の目標値を数量ベースで80%と定め、ジェネリック医薬品の利用促進シールの配布等により被保険者への周知・啓発活動をすすめることともに、医師会、歯科医師会、薬剤師会等、医療関係者に対しても協力・連携を図り、目標達成を目指す。	0.38人		0人	①1,121通						R6目標		R6実績	どのよう貢献したか
			期間	3,071千円		0人							80.5%		88.2%	どのよう貢献したか
H25 ~	0.38人	0人	①1,121通	80.5%	88.2%	どのよう貢献したか										
	3,102千円	0人	①1,121通	80.5%	88.2%	どのよう貢献したか										
			①1,121通	80.5%	88.2%	どのよう貢献したか										
			①1,121通	80.5%	88.2%	どのよう貢献したか										
			①1,121通	80.5%	88.2%	どのよう貢献したか										
351	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	①参加者募集人数	教育委員会主催教室参加率(参加者数÷参加者募集人数×100)	地域社会への参加や自らの意志によって学習意欲や探求心を維持し、良き興味を持ち、生きがいのある日々が過ごすことができるよう運動を通して健康・体力づくりを行うことが必要であることから、引き続き参加者の増員を目標とする。	A	スポーツを楽しむ機会の提供のため、スポーツ振興課主催事業教室の他に、各地区体育館の教室の広報を行っている。自治会館等でのサークル等の指導者の確保、育成及びその質の向上を引き続き図っていく。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務		307千円	448千円						R6目標値が未達成の理由・分析		R6年度に改善した点	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)	②参加者数						R5目標		R5実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			スポーツ基本法	307千円		139千円	100.0%						93.0%		どのよう貢献したか	
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	実績						R5実績		どのよう貢献したか	
			主催事業教室の計画を立て年度初めに年間事業予定表一覧「スポーツ所沢」を市民体育館、各まちづくりセンター、コミュニティセンター等に配付する。随時日程に合わせ生涯学習情報紙にて募集を行う。運動を通し健康維持を図ると共にスポーツニーズに応え、生涯を通してスポーツに親しみきっかけをつくる。	0.85人		0人	①810人						R6目標		R6実績	どのよう貢献したか
			期間	6,869千円		0人							①810人		100.0%	102.1%
S52 ~	0.33人	0人	①810人	100.0%	102.1%	どのよう貢献したか										
	2,667千円	0人	②827人	100.0%	102.1%	どのよう貢献したか										
			②827人	100.0%	102.1%	どのよう貢献したか										
			②827人	100.0%	102.1%	どのよう貢献したか										
			②827人	100.0%	102.1%	どのよう貢献したか										
351	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	①総申込者数	申込率(申込者数(組数)÷募集人数(組数)×100)	募集人数(組数)に対する申込者をパーセンテージで算出。(R6募集人数(組数)4,500)大会の魅力を増し、申込割合を高めていく。	A	誰もが参加できるマラソン大会を通じて、市民の体力づくり及び所沢市のPRを引き続き実施していく。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務		8,000千円	8,000千円						R6目標値が未達成の理由・分析		R6年度に改善した点	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)	②申込者数(組数)						R5目標		R5実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			スポーツ基本法	8,000千円		8,000千円	③出走者数(計測者)						R5目標		R5実績	どのよう貢献したか
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	実績						R5実績		どのよう貢献したか	
			所沢市のメインイベントとして市のPRとともに、市民の健康づくりや人とのふれあいの場を提供し誰でも参加できることから、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を図る。選手を公募し、当該が事務局となり、各種スポーツ団体から選出された役員他で構成された実行委員会を組織し、ハーフの部を含む3部門を実施。	2.33人		0人	①5,249人						R6目標		R6実績	どのよう貢献したか
			期間	18,829千円		0人							①5,249人		88.0%	82.9%
H2 ~	2.79人	0.48人	②4,663人	88.0%	103.6%	どのよう貢献したか										
	22,546千円	0.48人	③4,572人	88.0%	103.6%	どのよう貢献したか										
		0.48人	③4,572人	88.0%	103.6%	どのよう貢献したか										
		0.48人	③4,572人	88.0%	103.6%	どのよう貢献したか										
		0.48人	③4,572人	88.0%	103.6%	どのよう貢献したか										



計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
353	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	体育施設は年々老朽化が著しく進んでいることから、安全かつ快適な施設運営のためにも、引き続き施設の修繕、改修に努めていく。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
			重要	自治事務		19,856千円	18,023千円		①体育施設整備費執行額(修繕) ②体育施設整備費予算額(工事) ③体育施設整備費執行額(工事)	整備施設の整備率(予算執行額÷予算額×100)	施設の修繕、整備を目標とし、年々進む老朽化に対応しながら、安全かつ快適な施設運営を行っていく。					
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)										
			スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例	13,660千円		13,660千円										
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析							
			市民の健康増進に寄与し、余暇活動の充実を図るため、利用者が安全かつ快適に利用できるよう体育施設の整備を行う。 ①所沢市公共施設等管理計画の内容に沿った整備を検討する。②所沢市公共建築物修繕計画に基づく改修工事を行う。③緊急性の高いものについては、随時、修繕を実施する。	0.45人		0人	実績	100.0%	96.1%	R6目標値が未達成の理由・分析						
			期間	3,636千円		0人	R6目標	R6実績								
			S45 ~	R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合	①13,659,219円	95.0%	100.0%		目標達成済					
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①大会参加者数	大会参加率(今年度参加者数÷前年度参加者数×100)	体力事業として実施している各種スポーツ大会の参加者を増やしていく。						
						0.13人	0人	実績	100.0%		556.4%					
		1,051千円	0人	R6目標	R6実績											
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①620人	100.0%	79.6%	特にトコロんウォークにおいて、3連休の最終日であったことから、エントリーは行っただが、参加を見送った方が100人弱いたことが大きな要因の一つである									
		0.18人	0人	②779人												
		1,455千円	0人													
		期間														
		S47 ~ R6														
353	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	所沢市民の健康と体力向上のため、その実践活動の促進と関係団体相互の連絡調整を行っている。市体系的なスポーツ大会をはじめ、各支部の運動会や各種スポーツ大会及び講習会などを実施している。地区において体力づくり市民会議支部団体及びスポーツ協会支部団体のすみわけ等の問題があるため、令和6年度未をもって解散し、事業はスポーツ協会に統合することで事業の効率化を図った。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
			重要	自治事務		2,700千円	2,700千円		①大会参加者数 ②前年度大会参加者数	大会参加率(今年度参加者数÷前年度参加者数×100)	体力事業として実施している各種スポーツ大会の参加者を増やしていく。					
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)										
			スポーツ基本法、体力づくり市民会議交付金交付要綱	2,700千円		2,700千円										
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析							
			「体力づくり市民会議」は、スポーツ・レクリエーション大会や各種教室の実施を通じて、ゆとりある市民生活や体力の向上発展に寄与している。また、各支部への支援を行なうことにより市民の生涯スポーツへの機会の提供を行う。この組織の活動を支援することを目的としている。	0.13人		0人	実績	100.0%	556.4%	R6目標値が未達成の理由・分析						
			期間	1,051千円		0人	R6目標	R6実績								
			S47 ~ R6	R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合	①620人	100.0%	79.6%		特にトコロんウォークにおいて、3連休の最終日であったことから、エントリーは行っただが、参加を見送った方が100人弱いたことが大きな要因の一つである					
						0.18人	0人	②779人								
						1,455千円	0人									
		期間														
		S47 ~ R6														
353	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	国、県の情報把握、所沢市の現状把握について、様々な立場の検討委員、事務局との共通認識を持つため、必要回数の会議の設定をすることができた。今後は、具体的な方向性や実施方法、指標の見直しについて、協議を進めていく。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
			優先	自治事務		250千円	140千円		①検討会議実施数	検討会議開催数 実施回数÷実施予定回数全5回×100	令和2年9月にスポーツ庁より示された「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」を受け、令和4年6月6日にスポーツ庁の審議会である「運動部活動の地域移行に関する検討会議」により提言がまとめられ、令和5年度より令和7年度の3年間が改革集中期間と示された。本市においても段階的に実施するために、必要事項について協議をするために必要な回数を設定した。					
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)										
			運動部活動の地域移行に関する検討会議の提言(国)	250千円		150千円										
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析							
			・持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を表現 ・地域スポーツの振興	0.25人		0人	実績	100.0%	100.0%	R6目標値が未達成の理由・分析						
			期間	2,020千円		0人	R6目標	R6実績								
			R5 ~	R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合	①5回	100.0%	100.0%		目標達成済					
						0.61人	0.2人									
						4,929千円										
		期間														
		R5 ~														
354	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市内には世界レベルのアスリートが多くいて、オリンピックやパラリンピックを始めとした大きな大会を舞台に活躍している。市民には、そのようなアスリートの活躍を知ってもらい、触れあえる機会を作ることで、スポーツに対する熱を高めることを目指している。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
			重要	自治事務		540千円	529千円		①イベント実施数	体験会・講演会等の開催数 (今年度イベント実施数÷前年イベント実施数×100)	所沢市オリンピック・パラリンピック競技啓発事業推進委員会(スポーツヒーロー応援団)のイベント実施回数を前年度より上回ることを目指すものである。					
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)										
			スポーツ基本法	789千円		726千円										
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析							
			オリンピック・パラリンピックの機運醸成や地域の活性化を図ることを目的に、大会のPRや障害者スポーツの普及啓発に向けた取組を実施する。また、オリンピックパラリンピックの選手だけでなく、本市にゆかりのある世界的なアスリートがいるため、所沢市ゆかりのアスリートとして認定し、市をあげて応援し、本市のスポーツ振興を図るものとする。	0.50人		0人	実績	100.0%	89.5%	R6目標値が未達成の理由・分析						
			期間	4,041千円		0人	R6目標	R6実績								
			R4 ~	R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合	①22回	100.0%	129.4%		目標達成済					
						0.56人	1人									
						4,525千円										
		期間														
		R4 ~														